



地域社会における 女性のキャリア開発の実践 オーストラリアのケース

パトリス・ブラウン博士

知識経済

- 包括的成長と起業による解放が政策を推進する重要な概念であり、この重要な資源をもっとうまく活用する方法を知りたいという声が高まっている。しかし現在まで、この方面への投資は少なすぎる。
- 女性が求め、必要とするスキルを獲得できるよう援助することにより、経済統合が進み、経済力が高まり、抵抗力のある地域社会が生まれる。
- オーストラリアの研究者が女性の訓練ニーズを調べた結果、多くの訓練機会や資源が提供されていることがわかったが、女性の間に見られる不均質や柔軟性に対応したものはほとんどなかったという。農村地帯やへき地に住む女性、先住民族や移民の女性が特に不利な条件に置かれていることが明らかになった。



女性とスキルを強化する

- 生涯学習の枠組みにおいては、ライフ・キャリア・マネジメントとエンプロイアビリティ・スキル（雇用され得るスキル）を組み合わせた、いわゆる「メタ・コンピタンシー」の重要性が高まっている。

- 変化に対応する能力
- 満足できるライフスタイルをもたらしてくれる人生・キャリア・学習の機会を識別する能力
- テクノロジースキル(情報通信技術、ソーシャルネットワーキング)
- 問題解決・イニシアチブ・企業的スキル
- チームワーク・学習・自己管理スキル
- 共同作業などの能力、対人スキルや相互コミュニケーションなどを含むコミュニケーション・スキル

- 重要なのは、富の創造と個人的な幸せをバランスよく追求し、女性が満足できるライフスタイルの中でキャリアと学習の機会に対応できるようにすることである。



女性の強みを生かす

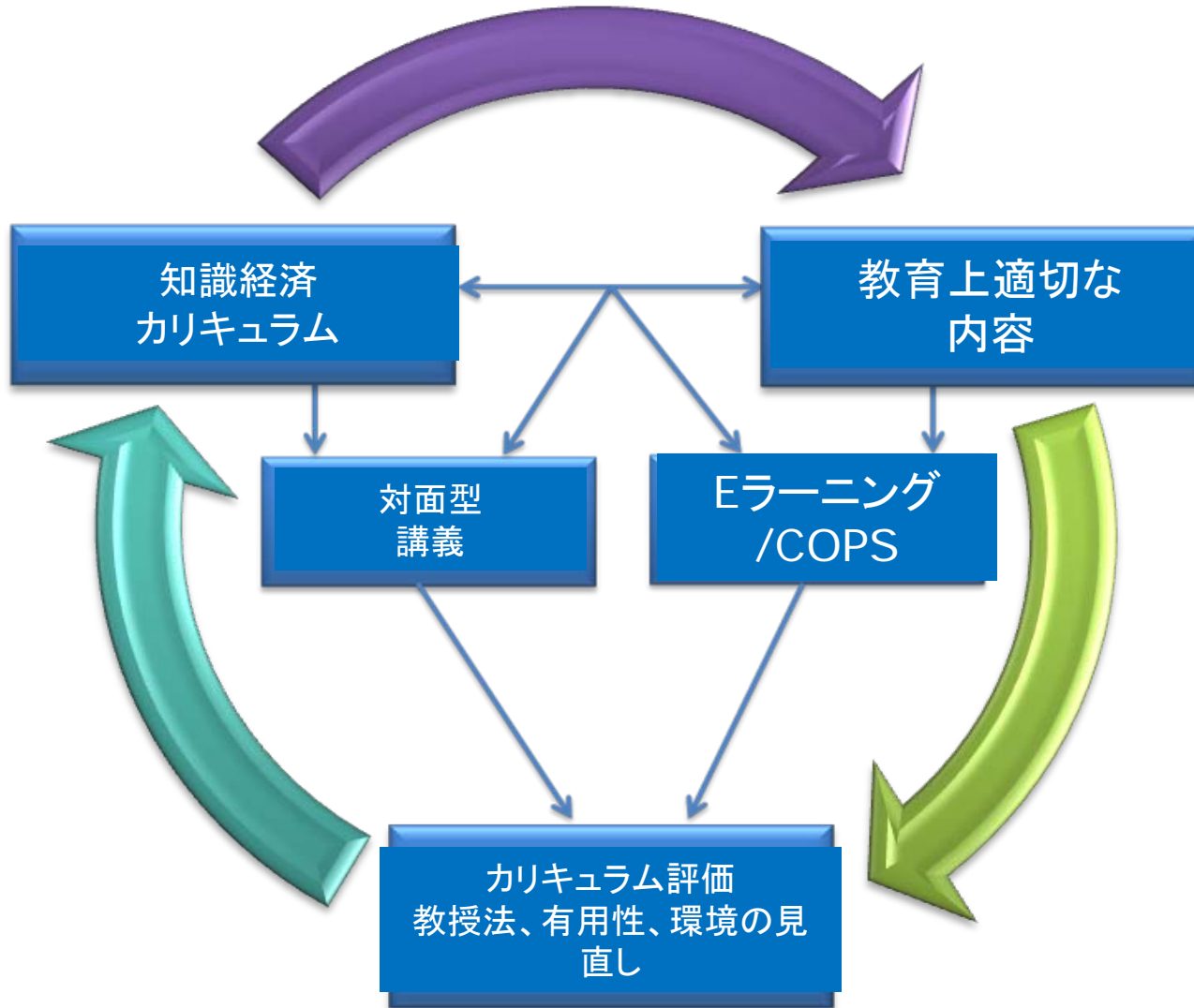
- 女性はそれぞれ違うやり方でコミュニケーションを行っている。経済的指導者や管理職の立場になると、女性のコミュニケーションスタイルを受け入れなくなることが多く、そのせいで女性の起業家の経済力が脆弱になっている(グリーンら, 2003)。
- 女性は起業および事業の分野も、生産する商品も、掲げている目標も、事業の構造やプロセスも、人によって違っている (ブラッシュ, 1992)。
- 女性は男性と違ったやり方で学習する。ジェンダーの差異に配慮した教育を行うことで、学習経験が向上する。(ベレンキーら, 1997)。
インターネットを活用したスキル訓練やCOPSが忙しい生活の「合間を縫って」学習したい女性のニーズに合っている。
- 女性ならではの特性やモチベーションを理解することが、包括的経済の未来を築くために不可欠である。



「ウーマン@ワーク」試験的プログラム

- 医療業界で働く女性を最大20名招き、対面式講義、オンライン、テレビ電話など、複数の手段を利用したマルチモーダル学習プログラムに参加してもらった(2009年)。
- 本プログラムではチーム・エフェクティブネス、ネットワーキング・スキル、コミュニケーションスキルの向上を狙った。
 - 参加者たちは好きな学習法としてオンライン学習を選んだ。複数の手法を組み合わせた学習法は好評を維持している。
 - 内容が一般的すぎた ~ 個々の職場や業界のニーズによって、内容を変えることが重要。
 - 参加型デザイン ~ コアコンピタンス+ 現場で必要なスキル
異なる業界・組織・個人の発達ニーズ

学習の枠組み





2010 年女性リーダーズネットワーク会合

女性の生涯キャリア開発: 教育と職業訓練ワークショップ

「長く生き、亡くなる日まで
学び続けよ」(中国の諺)

ご静聴ありがとうございました。
p.braun@ballarat.edu.au

